

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 令和2年7月 6日

東京都作業部会確認年月日 令和2年7月 8日

事業名 輸送センター

案件名 輸送センター新フロアの賃貸借契約（晴海トリトンスクエア）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成29年5月31日の合意の考え方では、都は「大会時の都市活動や都民生活に与える影響を最小化するよう、都内会場周辺に関わる輸送及びセキュリティ対策に係る経費」を、組織委員会は「輸送、セキュリティ及びオペレーション等に係る経費」をそれぞれが負担することとなっている。</li> <li>● 輸送センターは交通を所管する各機関との連絡調整、交通事故や鉄道運転見合わせ等の非常事態が発生した際の対応等を行う組織であり、都と組織委員会が共同で運営することとなっている。</li> <li>● なお、延期に伴う追加経費の取扱は、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輸送センターはメインオペレーションセンター（以下、「MOC」という）等と一体活動することが望ましい旨、組織委員会理事会の承認を得られており、輸送センターのフロアはMOCが入居する晴海トリトンスクエア内のフロアであることが望ましい。</li> <li>● 晴海トリトンスクエアのフロアの賃貸借契約は、MOC等のフロア調整を所管する組織委員会総務局が一括して行っているため、組織委員会が主体となって執行を行うことが望ましい。</li> <li>● 以上の観点から、組織委員会が一括して執行したほうが効率的・効果的であると判断した。</li> </ul>	

経費の内容等 が必要性(必要 な内容、機能か など)、効率性 (適正な規模、 単価かなど)、 納得性(類似の ものと比較し て相応かなど) 等の観点から 妥当なもので あること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輸送センターはトリトンスクエアに構築されており、同フロアの賃貸借契約は令和2年12月までだが、同年10月以降は、後続のテナントに引き渡すための原状復旧工事が予定されている。</li> <li>● 大会延期に伴い、令和2年10月以降に使用するフロアを確保するため、現時点で手続きを進める必要がある。</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 延期に伴い、輸送センターに必要なフロアの面積を精査し、見学スペースの廃止、対策本部スペースの縮小、大会時の業務引継ぎスペースを都・組織委員会で共用とする等、使用する面積をさらに削減することで、効率性が図られていることを確認した。</li> <li>● 輸送センターの席あたりの平均面積は6㎡前後であるが、一般的なオフィスでは8㎡強といわれており、十分効率性を担保できているといえる。</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オフィス賃料相場を調査し、勝どき地区における類似規模のオフィスの平均賃料と比較して遜色ない坪単価であることを確認した。</li> <li>● 延期に伴う追加経費について、輸送センターに必要なフロア的面積を精査し、使用する面積を必要最小限とすることで、経費の削減に努めている。</li> </ul>	
その他経費の内容等 が公費負担の対象 として適切なもので あること		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現時点では輸送センターの使用面積等が未確定であるため、実使用面積等の確認に基づき、輸送センターとしての負担額を確定するものとする。</li> <li>● 輸送センターに係る経費については未整理の事項があり、また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、調整が整うまで当面全額組織委員会負担とする。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。